The CIRCLE

TOCHIGI TOYOTA
ドライブ情報誌＆総合カタログ
ザ・サークル

Vol.162

見ても食べてもおいしい
フォトジェニック スウィーツ
コレクション

栃木の歴史的建造物を訪ねて
ゲストハウス CICACU／シカク（鹿沼市）

栃木の民話を訪ねて
「いぼ石沢」（那珂川町）

見ても食べてもおいしい

フォトジェニック スウィーツ コレクション

今年の猛暑で身も心もバテバテ！・・・そんな皆さまにお届けします。
目でも舌でも楽しめる極上スウィーツたち。
お気に入りのものが見つかったら、食べる前にぜひ"パシャリ"と記念の一枚を！

South Ave.Store（サウスアベニューストア）

衝撃的！パフェを越えるキュートなスウィーツタワー

アメリカ西海岸を思わせる開放的なカフェで話題沸騰の『モンスタートリックパフェ』。歓声をあげずにはいられない、アメリカンポップなカラーに包まれたキュートなパフェは、こぼれ落ちそうなほどスイーツが積まれ感動の迫力！１番人気は『ピンクパンチショコラ（875円）』。ストロベリーに、オレオやチョコレート、チャンククッキーを合わせた最強コンビです。パフェの提供は10月中旬までの予定。新たに登場する"フォトジェニックなスウィーツ"にもぜひ注目です。

宇都宮市中央3-2-4
☎028-611-1966
AM10:30～PM11:30
無休
www.instagram.com/explore/tags/サウスアベニューストア/

NCACAO CHOCOLATE（エヌカカオチョコレート）

見た目にもかわいらしい チョコレートに心くすぐられる

見た目にも美しいチョコレートの専門店。那須で人気の店「チーズガーデン」の姉妹店です。"高原のチョコレート"をテーマにした、那須発のチョコレートを発信しています。アーモンド等のナッツ、オレンジなどのドライフルーツをコーティングしたものや、葉型のチョコレートにそれらをトッピングするなど、かわいらしい品々で楽しませてくれます。

那須町高久甲5240-2 ☎0287-73-5305 AM9:00～PM6:00（季節によって変動あり）
無休 Ⓟ有り http://cheesegarden.jp/tenpo/ncacao/

HAYAKIKAZE cafe（ハヤキカゼ カフェ）

旬のフルーツがフレッシュな甘さを運ぶフルーツサンド

ソフトブレッドの上に、スライスされたフルーツが乗ったカラフルなフルーツサンド（800円）が大好評。パンとフルーツの間に塗ったクリームチーズと生クリームがフルーツの酸味と相まってさわやかな甘さに！コッペパンタイプもあります。町並みに合うセンスのよい外観も魅力。古い民家をリノベーションした店内では地域の人たちがゆったりした時間を過ごしていました。

さくら市喜連川4410
☎028-666-8233
AM10:00～PM6:00（木曜／AM11:00～PM5:00）
日曜定休
Ⓟ市営無料駐車場の利用可

Lanai Cafe（ラナイ カフェ）

アサイフルーツがたっぷり入ったヘルシーフード

ハワイの魅力を知りつくしたオーナー夫妻が営む、南国の花々に彩られたウッドデッキが魅力のハワイアンカフェ。ゆったりとしたハワイ時間が流れています。おススメのメニューは、ハワイのサーファーの間で朝食として定番のアサイボウル（702円）。ポリフェノール満点でジューシー&さわやかな味わい。バナナやグラノーラ、ハチミツとの相性も抜群です！

那須町高久乙3511-14
☎0287-73-5219
AM9:00～PM7:00
木曜・第3水曜定休
Ⓟ10台

GLAZEE DONUT（グレージードーナツ）
大人も子供も心躍る ポップなアメリカンドーナツ

手のひらを覆うビッグなサイズ感、童話の世界から飛び出したようなポップなビジュアル。手にした誰もが笑顔になる唯一無二のドーナツは、アメリカで感銘を受けた店主が試行錯誤の末に完成させたこだわりの味。ふんわり軽い生地は様々なトッピングにマッチする控えめな甘さで、種類によって異なるおいしさが楽しめます。移動販売車のほか、あぜみち鹿沼店、戸祭店、駅東店、宮カフェでも購入が可能。ドーナツの概念が変わる『グレージーサンド』も人気です（移動販売のみ）。

平日はTSUTAYA宇都宮竹林店、鹿沼店のどちらかで出店
PM2:00～PM7:00（L.O／PM6:30）　月曜定休
※出店情報はFacebookにて。

アンジェフレーゼ
季節のフルーツで彩られた華やかパンケーキ

人気の観光農園「いちごの里」の敷地内にある、地産地消料理とスイーツが楽しめるカフェ。通年人気の『パンケーキ』は、栃木県産小麦粉イワイノダイチと鹿沼山麓卵を使った、しっとりなめらかな仕上がり。たっぷり添えられたホイップクリームも軽い口当たりで、フルーツと合わせあっさり食べられます。チョコバナナやなどの定番のほか『ミックスフルーツパンケーキ（1,380円）』、完熟苺を使った『天使のパンケーキ（12～5月頃の期間限定・1,190円）』もファンの多いひと品です。

小山市大川島408
いちごの里内
✆0285-33-1511
AM9:00～PM6:00(L.O.／PM5:30)
無休　Ⓟ有り
www.itigo.co.jp

GRIMM CAFE'（グリム カフェ）
インパクトだけじゃない絶妙なハーモニーを楽しもう

２階に音楽スタジオを併設するカフェ店内は、男性でも寛げる落ち着いた空間。そんな居心地良い雰囲気のなか世代問わずオーダーしているのが、480ccのメイソンジャーで提供される『グリムパフェ』。常時ある６種類に加え、季節限定パフェも登場。今秋は11月までの期間『コーヒーモンブラン（880円）』が楽しめます。ほど良い苦みのコーヒーゼリーは自慢のコーヒーを使った自家製。モンブランホイップや濃厚なマロンアイスとのバランスも絶妙で、飽きずに食べられる大人味パフェです。

足利市通2-2654-11
✆0284-22-7005
正午～PM10:00
火曜定休（祝日の場合は翌日）
Ⓟ6台
www.grimmcafe.com

color＋full（カラフル）
この秋登場の新作はかわいくておいしい 原宿系スイーツ

宇都宮市オリオン通りの一角にある、ひときわ目を引く外観が特徴です。台湾カキ氷を提供するお店が、新たに「SNS映え」しそうなメニューを提供しています。その名も『ワッフルポップ（540円）』。ボリュームのあるサクサク、もっちりとした食感のワッフル生地に、濃厚な生クリームを使用。写真手前はストロベリー。ほかにバナナやマシュマロを使ったものも。

宇都宮市曲師町5-4
中村園ビル1F C
✆070-1462-1571
AM11:00～PM8:00
（金・土曜／～深夜0:00）
火曜定休
Ⓟ近隣のコインⓅ利用

Cafe&Diningbar 珈茶話（カシワ）
可愛らしさがほっこり心癒す“3Dラテアート”

SL大樹の発車起点としてレトロな雰囲気が漂う下今市駅のすぐそばにある老舗カフェ。ハンドドリップの淹れたてコーヒーとともに、人気を集めているのが『デコラテ（1,000円）』です。全国でも数少ない立体アート技術を持つ“デコリスタ”柏木氏が作り出すカップの中の小さな世界は、心ときめく究極の可愛らしさ。リクエストオーダーが可能で、好きなキャラクターやペット、日光らしいSLや眠り猫だってふんわり優しく浮かび上がります。幸せに包まれるひと時をぜひ。

日光市今市1147
✆0288-22-5876
AM11:00～PM10:00
水曜定休、10/6、10/21は臨時休業
（その他変動あり、HPで確認を）
Ⓟ有り　www.kashiwa.cc

LE COFFRET（ル・コフレ）
一度食べたら虜になる、優雅で華やかな口どけ感

パリで研鑽を積んだシェフが営む、正統派フランス菓子店。本場のパティスリー同様、ケーキやトリュフ、焼き菓子やジャムのほか、クロワッサンなどのパンも店内に並ぶ。中でもひときわ目を引く鮮やかなマカロンは、生地に用いるアーモンドを自家製粉。ほど良い口どけの中に、果実感あふれるジャムや濃厚なクリーム、生食感のチョコを挟み、大人も満足のリッチなフレーバーに。

宇都宮市下戸祭2-15-13
✆028-666-7780
AM10:00～PM7:00
月曜定休（祝日の場合翌日）
Ⓟ6台
www.le-coffret.net/

24色のマカロンはどれも個性的で奥深い味わい。各250～310円。

栃木の歴史的建造物を訪ねて

ゲストハウス CICACU（シカク） 鹿沼市

受け継がれる宿場の歴史に新たな時を刻み始めた名旅館建築

日光例幣使街道の宿として、また木工の町として知られている鹿沼市。日光東照宮造営の折、全国から集まった職人たちが、周辺に住みつき、後に彫刻屋台をはじめ、優れた木工製品を生み出したといわれています。市役所にも程近い天神町界隈、旧日光例幣使街道沿いに佇む趣ある建物。藍染めの暖簾が秋の風に揺れています。

「ゲストハウス・CICACU（シカク）」。建物は江戸期創業の老舗旅館「中野屋」のもの。20年前まではここで営業していましたが、JR鹿沼駅前に移転。建物はひっそりと扉を閉じましたが、2016年3月にゲストハウスとして新たに生まれ変わりました。

建てられたのは大正時代といわれ、昭和に入ってから増改築を施されたようです。暖簾をくぐり引戸を開けて玄関に立つと、まず目に入ってくるのが階段。そして、その右手奥に続く廊下と格子戸。古き良き日本建築、そして旅館や料亭ならではの、どこか艶やかな雰囲気が漂います。

オーナーの辻井まゆ子さんは、京都の出身。軽やかな京ことばが印象的です。「日光に旅をしまして、途中立ち寄ったのが鹿沼でした。街を散策していて、お茶を飲もうと入ったのが今宮神社参道の『朱雀』。（※日光珈琲の風間教司さん経営のカフェ）そこに風間さんがいらっしゃって。鹿沼に視察に来ていた方たちに街を案内されていたんです。おもしろそうだから一緒について廻って…」

たまたま立ち寄った鹿沼で、風間さんとの出会い、そして地元の人たちの温かさ、さらに街の歴史や身近な自然など、辻井さんは鹿沼の街にひかれ、移住を決意。宿泊施設が少なかったこともあり、この地でゲストハウスをやりたいとの思いが芽生えました。その後、風間さんの経営する「カフェ饗茶庵」で働きながら物件を探し、この建物と出合いました。開業準備は、風間さんたちとプロジェクトを立ち上げ、まわりの人たちと、知恵と力を出し合ってリニューアル。2016年3月に開業しました。

「間口の割に奥に長い鰻の寝床で、奥は新しく造りましたが、フロントや帳場のある本館部分は昔のままです。たいへんなこともありましたが、まわりの人たちが協力してくれたおかげで楽しくやってこられました」

階段や建具、格子戸など、老舗旅館ならではの造りが見られ、木工の街ならではの匠の技には、歴史に磨かれた美しさが宿っています。また宿泊だけでなく、2階の大広間は、さまざまなイベントにも使われています。

「ゲストハウスですけど、たんなる宿泊施設としてだけでなく、この街を訪れた人と地元の人たちとの交流の場として機能していければいいなと思っています」と語る辻井さん。

かつて旅人が行き交い、旅籠が軒を連ねていた鹿沼宿。受け継がれる歴史や文化、そして広がる人の輪とともに、老舗旅館の建物が、また新たな時を刻み始めています。

旧例幣使街道沿いに佇む趣ある建物。

階段は、手前と奥の両側が使える造り。

2F鶴亀の間。欄間や床柱などにも時を重ねた美しさが見て取れる。

本館と別館をつなぐ廊下。飛び石のように見えるが木製。

ゲストハウスを切り盛りする若き女将、オーナーの辻井まゆ子さん。

玄関へと続く廊下。左側の格子戸にも職人の技が光ります。

玄関の引き戸には旅館中野屋の文字。

ゲストハウス CICACU／シカク

鹿沼市天神町1704
http://www.cicacu.jp

このコーナーは、栃木トヨタのお客様からの情報をお届けするものです。ショップや会社の案内、サークルのメンバー募集など様々な情報を掲載していきます。お客様同士のコミュニケーションにもお役立てください。

日頃、お世話になっているお客様限定の Circle's Forum 掲載申し込みについて

◎このコーナーに掲載ご希望のお客様は、担当の栃木トヨタスタッフにお申し付けください。
※掲載はご希望に添えない場合がございます。また、イベント開催のお知らせ等、時期が限定される内容は掲載できない場合がございます。
◎掲載決定後、担当スタッフからご連絡いたします。
◎詳細は担当スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

Circle's Forum

日頃、お世話になっている
栃木トヨタのお客様から…。

Shop ショップ

那須 おかしげ

昭和50年創業。先代から受け継いだ自慢のとんかつをメインに、地元食材を使った料理をご用意しております。落ち着きのあるモダンな雰囲気の店内は、テーブル席のほか座敷席もございますので、接待やご宴会にもご利用いただけます。おすすめは、やはり「ローストかつ（1300円）」。地元ブランド豚「那須桜山豚（オーシャントン）」を使用したとんかつは、上品な甘さの脂とジューシーな肉質が特長で、食べ応えも抜群です。「美味しい大人の夜遊び」をコンセプトに、大田原牛や全国各地の旬の魚介類など、ぜいたくな一品を堪能できるひとときを、あたたかなおもてなしとともにご提供いたします。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

那須塩原市永田町4-14　☎0287-36-0255　正午～PM2:00、PM5:00～PM10:00
日曜定休（臨時休業有り）　Ⓟ15台　http://nasu-okashige.com

Shop ショップ

トラットリア トレアーリ

15年以上、都内のイタリアンで修行の後、地元益子町で2018年3月にオープンしました。ランチはパスタセットの『Aセット（1200円）』、前菜に肉または魚のメインが付く『Bセット（1800円）』、前菜、パスタ、肉または魚のメインが付く『Cセット（2500円）』の3種類。パスタは旬の素材い、週替わりになります。夜はその日のおすすめメニューを黒板に掲示。能登直送の魚介類は、この辺りではめずらしいものも並びます。アラカルトやおすすめのコースでお楽しみください。料理に合わせたワインもご提案しますので、気軽にお声がけください。カジュアルに楽しむイタリアンなので、気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

益子町塙2590　☎0285-81-5818　AM11:30～PM2:00（L.O.）、PM5:00～PM10:00（L.O.）
月曜定休（祝日の場合は営業、翌日休み）　Ⓟ10台

Shop ショップ

ブーランジェリー　リール

当店はお客様とのコミュニケーションを大切に、パンを対面式で販売しております。気になるパンや初めて購入するパンなど、美味しい食べ方や食事との組み合わせなどもご提案いたしますので、お気軽にお声がけください。パンは季節ごとに、旬の素材を使ったものが並びます。秋にはキノコ、サツマイモ、栗、カボチャ、洋ナシなどを使った品が登場予定です。またイートインスペースもあり、購入したパンは、種類により温めてご提供します。ランチもご好評をいただいており、『スムージーランチ』『スープランチ』『サラダランチ』の3種類（各1080円）ご用意しております。いずれも盛り籠パン、ドリンク、デザート付きです。

下野市薬師寺2291-6　☎0285-48-5230　AM10:00～PM7:00
日曜、第1・最終月曜定休　Ⓟ有りwww.boulangerierire.jp/

Shop ショップ

やきとり 朝日屋

JR矢板駅前の屋台で14年間営業し、21年前に今の場所に店舗を構えました。18席の小さな店ですが、地元をはじめ宇都宮や日河からもお客様がお越しになり、長年通ってくださっています。肉は地元の生産者から直接仕入れ、鮮度のよい素材をその日の分だけ仕込みます。一本一本手作業で串に刺しますので大量生産はできませんが、その分美味しいものを提供したいというのが信条です。それだけに、お客さまの「美味しかった」という声を聴くと本当に幸せです。看板メニューのホルモン焼き（500円）は、料理人だった父が昔作ってくれた味に私なりに工夫を加えました。やきとりのお持ち帰りはできませんので、ぜひお店でお楽しみください。

矢板市山田73-6　☎0287-43-8189　PM5:30～PM9:00
日曜・祝日定休　Ⓟ13台

Beauty ビューティ

Riddle HAIR（リドル ヘアー） 石井町店

「つくりすぎない、さりげない、ナチュラルであること」をテーマに、一人ひとりに合う自然な美しさ、上品さ感じるスタイルをご提案しております。桜通り店に続き、2号店となる石井町店が昨年オープンしました。西海岸風コンテナハウスのような造りで、隣にはスタイリッシュなランドリーカフェもあり、海外のような雰囲気を感じていただけます。〝リラックスできる場所〟となれるよう、髪や地肌に優しい自然由来のアイテムを豊富に取り揃え、カウンセリングの時間も重視しています。10年以上のキャリアを持つスタイリストが多数在籍しておりますので、様々な悩みやイメージを気兼ねなくご相談ください。来年4月には「駒生店」もオープン予定です。

宇都宮市石井町2800-155　☎028-680-4789　AM9:30～PM8:00（CUT/PM7:00まで・日祝日 PM6:00まで）※予約優先
火曜定休（祝日の場合は営業）　Ⓟ有り　http://riddle-hair.com

Company 会社

エスホーム

宇都宮市平出町、新4号線沿いに事務所兼ショールームを構える完全注文住宅の工務店です。家づくりの際に一番に考えることは、「その先の将来も家族が幸せに暮らせる家であること」。その実現ためにスタッフそれぞれが知識と技術を高め、土地選びからプランニング、施行に携わっております。また、コスト面の不安がなくなるよう〝ローコストで高品質な家〟をコンセプトに、お客様と一緒に作りあげる家づくりを心がけています。その実績が認められ、栃木県では唯一8年連続で「全国優良工務店100選」にも選ばれました。ぜひ毎月開催する住宅見学会（詳細はHPにて）にご来場いただき、家づくりの不安や疑問などお気軽にご相談ください。

宇都宮市平出町3563-3　0120-934-606 AM9:00～PM5:00
火・水曜定休　Ⓟ有り www.shome.jp

喜ばれる 手みやげ研究室

プライベートでもビジネスでも、フォーマルでもカジュアルでも、様々な場面で、場を明るく和ませるのが〝気の利いた手みやげ〟。絶対はずさない〝手みやげ〟を研究・発表します。

吉田屋羊羹本舗『栗蒸し羊羹』

栗をたっぷり合わせたほっこりと上品な甘さの秋限定〝極上ようかん〟

江戸時代から続く老舗の羊羹専門店「吉田屋」。大正時代には日光御用邸に献上していたという伝統ある羊羹は、すっきりとした甘さと、ひと口食べるごとに広がる小豆の風味が格別で、日光名物としてリピーターの絶えない商品です。そんな吉田屋ファンも心待ちにしているのが、栗をぜいたくに使った秋の限定商品『栗蒸し羊羹』です。舌ざわりのよい羊羹と、ほっこりした栗の食感がバランス良く解け合い、秋にぴったりの優しい甘さが楽しめます。緑茶や抹茶との相性も抜群なので、秋ならではの和菓子を囲んで、ゆっくりと季節を感じてみてはいかが。時間をかけ職人が手作りする羊羹は、大切な方への心を込めたプレゼントとしてもおすすめです。

日光市中鉢石町903
☎0288-54-0009
AM9:00～PM6:00
（季節により変動あり）
水曜定休（営業の場合あり）
Ⓟ有り

日光珈琲『ドリップバッグ コーヒー』

至福のひと時が訪れる香り高く奥深さ際立つスペシャルティコーヒー

カフェの名店がこだわり続けるクオリティ高いブレンドコーヒーを、手軽に楽しむことができるドリップバッグです。生豆、焙煎と徹底管理し作り上げるのは、希少なスペシャルティコーヒー。指定農家から仕入れる良質な豆をハンドピックで選別し、豆に合わせて完全熱風式焙煎機で丹念に焙煎しています。雑味がなくすっきりとした後味、深みのある味わいは、心安らぐ時間をもたらしてくれます。オリジナルブレンドのドリップバッグは酸味、苦味、香りのバランスがとれた上質な味わいの『日光ブレンド』、柔らかな苦みとコクが際立つ『男体山ブレンド』、フルーティーで上品さ漂う『女峰山ブレンド』、極深煎りでコク深い『太郎山ブレンド』の4種類。

Cafe'饗茶庵本店
鹿沼市上材本町1737
☎0289-60-1610
AM11:30～PM8:00
（L.O./PM7:30）
月曜、第1・3火曜定休（祝日の場合は翌日）　Ⓟ有り

栃木の民話を訪ねて
第三十二回

いぼ石沢

那珂川町

昔、馬頭町地方に恐ろしい天然痘が流行りました。この病気にかかった人は、体中に吹き出物ができ、高い高い熱がうなされて、苦しみながら死んでしまうのです。特に子どもたちに次から次へとうつり、多くの子どもが死んで行きました。　困った人々は、集まって話し合いました。そして、もしこの恐ろしい病気にかかったなら、他の人にうつさないように、久那瀬と松野の間を流れている沢の奥の方へ、その子どもを捨てると約束しました。

毎日毎日、いく人もの人たちが、病気にかかった子どもを背負い、この沢を渡って捨てに行きました。沢の奥の方からは、

「かあちゃーん、おいてっちゃいやだよ。家へかえるよー。」

と、力を振り絞って泣き叫ぶ子どもの声が、村人たちとの約束を破ることができず、子どもを置いて逃げるように立ち去って来る、悲しい人々の心を突き刺すように聞こえて来ました。たまりかねて、その場に泣き伏してしまう母親もありました。

高熱におかされた子どもたちは、後を追う気力もなく、沢の中に倒れ伏し、そのまま石となってしまいました。その石は、どれも天然痘のアバタをそのまま残しています。それから後、この沢を、「いぼ石沢」と呼ぶようになりました。

やっと悪疫の収まった翌年から、毎年のように大風が吹き荒れて、凶作が続きました。

村人たちは「これは何かの祟りかもしれない。」と、お坊さんにお祈りをしてもらいました。そのお告げによると、

「いぼ石沢に捨てた子どもたちの怨念（うらみ）が、那珂川にある深い渕に流れ込み、龍になって村中の作物を荒らしているのです。これを鎮めるのには、美しい娘を一人ずつ、人身御供に差し出すことです。」

とのことでした。

人身御供に選ばれたのは、この地方の名主の娘でした。村人たちがその恐ろしい龍に備えるため、娘を送り届ける用意をしている時、よろいかぶとに身を固めた若い武士が通りかかりました。この話を聞くと、

「人身御供などとんでもないこと、拙者が退治してつかわそう。」

と、身に着けていたよろいかぶとを近くの岩の上に脱ぎ、裸になると、刀を持ってざぶんと渕に飛び込みました。

やがて、渕の水は血で真っ赤にそまり、空まで真っ赤に見えました。しかし、武士はとうとう戻って来ませんでしたが、それから後、村は龍に荒らされることもなくなりました。今も、武士がよろいかぶとを置いた岩を、「かぶと岩」と呼んでいます。

助けられた娘は、戻って来ない武士を慕って、沼に身を投げて死んでしまいました。その沼を「おとめ沼」と呼んでいます。

参考文献「しもつけの伝説　第2集」